

# 施工説明書

## 施工業者様用

お施主様用の「使用上のご注意」が記載してありますので必ずお施主様にお渡しください。

## 天然銘木 ダイナクティブフローアー JXシリーズ

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。施工の際には本説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。施工後の返品、取替えは出来ませんのでご注意ください。

- △注意**
- 本製品は、捨貼り材が必要です。**根元に直接施工はできません。**
  - 下地の捨貼り材は12mm厚合板あるいは木造ネダレス構造用合板を使用してください。水濡れ、雨濡れは厳禁です。
  - 二重床を施工する場合は二重床メーカーの施工仕様にそって施工してください。
  - 下地工事(床暖房パネルの施工)は、床暖房パネルメーカーの施工説明書をよく読み、注意事項を守って使用してください。
  - 床下の換気を十分に行えるように換気口を設けてください。床下が多湿な場合は、防湿フィルムの敷設、コンクリートの打設等の防湿処理を十分に行ってください。若令材のコンクリートは大量の水分を蒸発しますのでJASS5(鉄筋コンクリート工事)に従って施工し、十分乾燥させてください。コンクリートの水分は床材の反り変形、変色、突き上げ、床鳴りなど不具合の原因となります。床下が多湿であったり、風通しが悪い場合には腐朽の原因となります。
  - ALCパネル下地は吸湿性が大きいので使用しないでください。万一使用される場合は防湿フィルムを敷設するなど施工面で対処してください。
  - 洗面、脱衣所でのご使用については、下地合板に構造用特類合板を使用してください。
  - ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場所、ひんぱんに出入りする箇所には、下地の補強を十分に行ってください。
  - 本製品は一般内装用(上履き用)の床材です。重歩行(土足用)には使用できません。
  - 本製品は床下収納庫や点検口のフタの構造によっては使用できないものがあります。ご使用の場合は必ず十分な補強対策を行ってください。

## 木質床材の特性についてははじめにご理解ください。

### 反り・突き上げ・目スキ

天然木を使用しておりますので床材の性質上、反り・突き上げが発生する場合があります。また湿度や温度の変化で床材が伸縮し、床材の継ぎ目にスキ間の発生や塗装表面にシワ、フクレなどが生じる場合があります。天然木の性質上、ある程度やむを得ないので、ご理解ください。

### 床鳴り

木材は水分を吸排出する性質があります。それに伴う伸縮によってサネ部から音が発生する場合があります。天然木としてやむを得ない現象です。また、施工など別の原因によって床鳴りする場合があります。下地のしっかりした固定やたわみのないことなど施工面での対策も必要です。

### 床暖房

稼働中の床暖房面の上には、カーベットや布団など放熱を妨げるものを長時間同じ場所に置かないでください。異常過熱(こもり熱)によりフローアーの変色や変形、スキ間の原因となる場合があります。

### 銘木単板の特徴

天然木には節や材色のバラツキなど、特有の個性が現れる場合があります。施工前に仮並べてご確認の上、バランスよく施工してください。また、光の当たった箇所と陰になる箇所で色差が生じることがありますのでご配慮ください。

## 施工業者様へ

# 保管上のご注意

## ● 直射日光を避け、雨濡れ・水濡れに

## ご注意ください。また、立て掛けず

## 水平に置いてください。反り・ねじれ

## などの原因になります。

## ● 梱包ケースの防湿フィルムは、

## 施工の直前に開封してください。

**お施主様用** このたびは弊社フローリングをご採用いただき、誠にありがとうございます。木質床材の特性と美しさを長く保つためのご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

### 床暖房

- 床暖房とこたつ、電気カーベットを併用することはお避けください。また稼働中の床暖房面に座布団などの保温性の良いものを長時間同じ場所に置かないでください。異常過熱により、フロアの継ぎ目部にスキ間が発生したり、変色やヒビ割れなどを起こす原因となります。また、電気カーベット単体でのご使用の際にも、床との間に市販の遮熱用保温マットを敷き、直接床面に熱がこもらないようにご配慮ください。

### 直射日光

- 窓際など直射日光が日常的に当たる場所では、日焼けによる変色を起こすことがあります。色の変化は天然銘木ならではの自然な性質ですが、変色やヒビ割れの進行を早める恐れがあるため、カーテンやブラインドなどで直射日光をできるだけ遮るようにしてください。

### 凹み・傷

- 本製品は上履き用です。土足では使用しないでください。
- 重量物(ピアノ等)を置く場合は、敷板等を脚部の下に敷き、重量を分散させてください。
- テーブルや椅子を引きずりますと、フロア表面を損傷する恐れがあります。足先にフェルトやゴムキャップ等を付けてフロア表面を保護してください。(ゴムキャップは種類によりフロアを汚染するものがありますのでご注意ください。)
- キャスター付きの椅子や家具類を直接使用すると、負荷の大きさや使用頻度にもよりますが、フロア表面の傷や破損の原因となることがあります。特に硬質樹脂製・金属製など堅い材質や球形のキャスターは傷つきやすいのでご注意ください。

### 汚れ・水濡れ

- キッチンシンク前、洗面前、浴室出口前のように常に水のかかる場所については、滑りやすくなり危険ですので必ず足拭きマットをご使用ください。
- フロアを長時間水に濡らしたまま放置するとシミ、シワ、腐蝕等の原因となりますので、速やかに拭き取ってください。
- 日常のお手入れは、乾拭きとし、水拭きはしないでください。汚れがひどい時には、固く絞った濡れ雑巾で拭き取ってください。市販のスチーム洗浄機やスチームモップの使用は控えてください。
- クレヨン、マジック、油等でフロアを汚した場合は、家庭用ベンジン等で拭き取ってください。ワックス掛けしている場合は、ワックスも取れますので、再びワックス掛けしてください。

### ワックス掛け不要

- 基本的にはワックス掛けは必要ありません。しかし長期間のご使用により、小さなすり傷が気になりだしたら、ワックスを使用して美観を回復することはできます。(但し、1度ワックスを使用されますとワックスによる定期的なメンテナンスが必要になります。)また、ワックスについては、リンレイ社のハイテクフローリングコートをご使用ください。
- ワックス掛けはワックス製品の取扱説明書や使用上の注意に準じて実施してください。(ワックスを直接床にまかないでください。膨れや突き上げなどを起こす原因となります。)
- 床暖房使用中はワックス掛けしないでください。塗りムラの原因となります。

### 虫害

- 表面に小さな穴が開き、木の粉が伴っていればヒラタクイムシの侵食とされます。一般的にフロアは製造工程で高温高圧処理されるため、虫や卵は死滅しておりますので混入はありませんが、木質材の特性上、流通段階や施工後に外部から虫が飛来し、虫食いが発生する場合があります。万一発生した場合は、専用薬剤を注入・散布するなどの対応が必要ですので、専門の処理業者にご相談され早期対応をお勧め致します。

### 床鳴り

- 木は水分を吸排出する性質があります。それに伴う伸縮によってサネ部から音が発生することがあります。天然木としてやむを得ない現象です。また施工など別の原因によって床鳴りする場合があります。

### 反り・突き上げ・目スキ

- 天然木を使用しておりますため、床材の性質上、反り・突き上げ・目スキが多少発生する場合があります。湿度や温度の変化で床材が伸縮するためです。エアコンや暖房機器などを連続運転する場合、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45~70%です。

